

# 牛が喜んで食べるサイレージを作るには

今年のサイレージの出来は、いかがでしょうか？サイレージがうまくできると牛達は喜んで食べるようになります。牛乳の生産量はアップします。今回は、牛が良く食べるサイレージづくりに成功した鶴居村T農場の事例について紹介します。

## ＜経過＞

T農場は経産牛四百頭飼養の大規模農場です。平成二五年産グラスサイレージの発酵品質が悪く、乳牛の疾病が増加し生乳生産量を減少させてしまいました。そこでT農場は、サイレージの改善に二年間取り組みました。



写真1 サイレージ品質が悪いと乾物摂取量は減少します

## ＜取組内容＞

平成二六年に初めて添加剤としてギ酸を使用し、高水分調製においても品質の良いサイレージをつくることができました。平成二七年は全ほ場の植生調査を農協・普及センターと共同で実施し、ほ場毎の雑草割合を調べた結果、牧草割合が四〇%以上のほ場は全体の三三%しかありませんでした。これらの情報をもとに次のことに取り組みました（表一）。

表一 平成27年における取り組み

取組1	牧草割合が高いほ場を先に収穫する
取組2	モアコンを改造し、牧草を高く刈って異物混入を防ぐ
取組3	牧草の水分が高いのでギ酸を添加する。スロープはなだらかにしっかり踏圧する

## ＜取組成果＞

以上の取り組みによって、きたサイレージは乳牛の食い込みが良くなり生乳生産量は増加しています（図一）。

表2 サイレージ発酵品質

発酵品質	pH	Vスコア(点)	NH3-N/TN	サンプル数
H25	4.5	67	14.9	18
H26	4.4	76	12.8	10
H27	4.0	98	5.2	5
栄養価	水分(%)	GP(乾物%)	NDF(乾物%)	TDN(乾物%)
H25	80.1	10.5	70.9	56.5
H26	81.8	11.1	70.5	60.1
H27	75.6	11.0	63.4	64.0

サイレージ品質は年々良くなっています

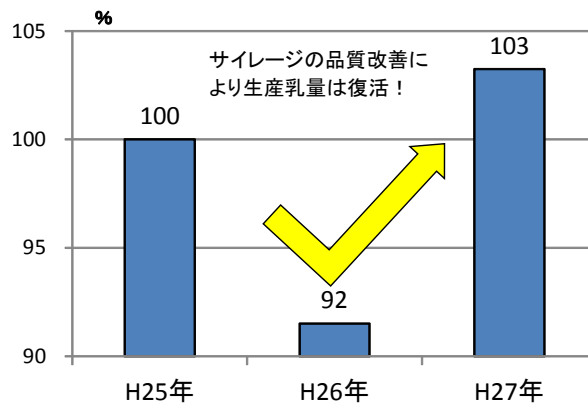


図1 出荷乳量変化 (1月-10月を累計して比較)

表3 サイレージ品質改善についての取り組み

内容	H25年	H26年	H27年
収穫開始日を早める	6月20日開始、7月上旬終了	6月15日開始、6月25日終了	6月11日開始、6月20日終了
牧草刈位置を高くする	未実施	未実施	モアコンを改造して刈取高さを10cm程度にする
高水分調製への対応	未実施	牧草にギ酸を添加し、pHが4.2以下か確認	牧草にギ酸を添加し、pHが4.0以下か確認

飼料分析を行うと、発酵品質向上に加え、タンパク質や繊維等、栄養価の改善が確認できました（表二）。

構成員のMさんは、「サイレージの栄養価がアップしたことでTMR中のサイレージ割合を高めることができ、牛の調子が良くなってきた」と話しています。

（平成二十七年十一月作成）